

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	造園設計	
<b>科目基礎情報</b>					
開設学科	土木・造園科	コース名		開設期	後期
対象年次	1年次	科目区分	必修	時間数	60時間
単位数	2単位	授業形態	実習		
教科書/教材	やさしい造園図面の描き方 建築資料研究社				
<b>担当教員情報</b>					
担当教員	松本恵樹	実務経験の有無・職種	有・造園設計		
<b>学習目的</b>					
造園図面の制作実習を通して、設計者のみならず、造園職人や施工管理者にとっても必要となる、図面を読む力、空間を把握する力などを身につけることを学習目的とする。					
<b>到達目標</b>					
次の3点を到達目標とする。 ① 平面図、立面図、断面図、透視図などを理解し、正確に書くことができる。 ② スケール感覚を身につけ、フリーハンドで描くことができる。 ③ 現況調査から計画、設計、プレゼンテーションまでの一連の流れを理解する。					
<b>教育方法等</b>					
授業概要	毎回の課題を通して造園図面の基礎を学ぶ科目である。図面を読み込む力を養い、造園の手書き図面の表現力を学んでいく。				
注意点	毎回、授業は連動しているため、欠席すると解らなくなるので遅刻、欠席をしないようにすること。授業時間内に課題を終わらせるように努力すること。課題に対する到達度により内容を変更する場合がある。言葉使いに気をつけて、クラスのみなを尊重して事にあたること。製図版は丁寧に扱い、共有の道具は大切にすること。授業終了後は製図室をきれいに清掃すること。製図室内は飲食を禁止する。授業時間数の4分の3以上出席しない者は単位を認定しない。				
評価方法	種別	割合	備考		
	課題	50%	実習課題への取り組みを総合的に評価する。		
	実技	20%	実習課題に対する到達度、成果を評価する。		
	平常点	20%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。		
<b>授業計画（1回～15回）</b>					
回	授業内容	各回の到達目標			
1回	ガイダンス	スケール感覚を身に付ける。身近なものを図化することができる。			
2回	図面の表現方法を学ぶ①	三角スケールの使い方を理解し、詳細図が書ける。			
3回	図面の表現方法を学ぶ②	三角スケールの使い方を理解し、詳細図が書ける。			
4回	図面の表現方法を学ぶ③	フリーハンドで樹木を描き、水彩色鉛筆を使って着色できる。			
5回	図面の表現方法を学ぶ④	景石、石造物、点景等を描き、水彩色鉛筆を使って着色できる。			
6回	図面の表現方法を学ぶ⑤	住宅庭園の断面図、立面図の作成ができる。			
7回	庭園の設計①	現場調査によりデータを収集し、コンセプトの設定、ゾーニング図とラフプランの作成ができる。			
8回	庭園の設計②	平面計画図の作成ができる。			
9回	透視図①	ブロック状の1点透視図を作成できる。			
10回	透視図②	庭園の1点透視図を作成できる。			
11回	透視図③	庭園の1点透視図を作成できる。			
12回	住宅庭園の設計①	コンクール課題への挑戦を通し、コンセプト設定、ゾーニング図・ラフプラン作成ができる。			
13回	住宅庭園の設計②	平面計画図の作成ができる。			
14回	住宅庭園の設計③	庭園の1点透視図を作成できる。			
15回	住宅庭園の設計④	庭園の1点透視図を作成できる。			